第 20063578002-0101 号　page 1/3

2021 年 04 月 14 日

試 験 報 告 書

依 頼 者　　サラウンディング株式会社

一般財団法人
日本食品分析センター
東京都渋谷区元代々木町52番1号

検　　体　　香料(品名 カンファーツリー)

表　　題　　除菌効果試験

2021 年 01 月 20 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

除菌効果試験

1　依 頼 者

サラウンディング株式会社

2　検　　体

香料(品名 カンファーツリー)

3　試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。)，所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また，あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い，検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4　試験結果

結果を表-1，試験条件を表-2に示した。

なお，試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により，検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1　試験液の生菌数測定結果

試験菌	対　象	生菌数(/mL)	
		開始時	24時間後
クロカワカビ	検　体	―	<1000
	対　照	6.8×10^5	5.7×10^5

保存温度：室温

対照：精製水

<1000：検出せず

表-2　試験条件

試験菌液	試験菌	*Cladosporium sphaerospermum* NBRC 6348（クロカワカビ）
	前培養：Potato Dextrose Agar(Difco)，25 ℃±1 ℃，7～10日間 菌液調製溶液：0.005 %スルホこはく酸ジオクチルナトリウム溶液 菌数：10^7～10^8/mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	24時間(室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で1000倍希釈	
対照	精製水	
生菌数測定	GPLP寒天培地[日本製薬株式会社]，混釈平板培養法	25 ℃±1 ℃，7日間

以　上